

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

おめでとう、コバケン！ 80歳記念演奏会
小林研一郎のベートーヴェン

国際的なコンクールで次々に優勝！
斜め上の想像力を持つ“恐るべき20歳”

ヴァイオリン=福田廉之介
Violin= RENNOSUKE FUKUDA

英雄

英雄



サン＝サーンス：
ヴァイオリン協奏曲第3番 短調
作品61

SAINT-SAËNS: Violin Concerto No. 3 in B minor, op. 61

ベートーヴェン：
交響曲第3番 変ホ長調
作品55 「英雄」

BEETHOVEN: Symphony No. 3 in E flat major, op. 55 "Eroica"

熱い魂の込められた音楽で聴衆を魅了！
円熟味を増す“炎のマエストロ”

指揮=小林研一郎 (特別客演指揮者)

Conductor= KEN-ICHIRO KOBAYASHI

読売日本交響楽団 第226回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 226

4月25日(土) 14時開演

東京芸術劇場 コンサートホール(池袋)

Saturday, 25th April 2020, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

SY¥7,600 AY¥5,600 BY¥4,600 CY¥4,100

読売日本交響楽団 第226回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series, No. 226

4月26日(日) 14時開演

東京芸術劇場 コンサートホール(池袋)

Sunday, 26th April 2020, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

SY¥7,600 AY¥5,600 BY¥4,600 CY¥4,100

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター0570-00-4390 (10時~18時)

https://yomikyo.or.jp/

小林研一郎が傑作「英雄」で渾身のタクト! “恐るべき20歳”レンノスケが名旋律を奏でる

4月に80歳を迎える“炎のマエストロ”小林研一郎は、今も精力的な指揮活動を続け、絶大な人気を誇る名匠。小林が圧倒的なエネルギーをタクトに込めると、一音一音に生命が吹き込まれるように、生みなぎる音楽が流れ出す。

今回は、ベートーヴェンの生誕250周年を記念し、メインには交響曲第3番「英雄」を演奏する。ナポレオンをテーマにしたと言われるベートーヴェンの傑作で、交響曲の歴史を塗り替えた革新性や力強さを持つ作品。喜び、悲しみ、祈り、勇気など人間の生きる全てが表されているかのような、スケールの大きさと懐の深さを備えている。小林の熟達した指揮は、分厚い響きの弦楽器に魂を注入し、木管楽器から伸びやかなメロディを引き出すだろう。フィナーレは、一心不乱に突き進み、圧倒的なクライマックスを築く。

前半のサン＝サーンスのヴァイオリン協奏曲第3番は、美しいメロディが散りばめられ、一度聴いたら忘れられない名曲だ。ソリストには、スイスで研鑽を積む“恐るべき20歳”福田廉之介が登場する。レンノスケの名を世界に広めたのは、もう5年以上前のこと。2013年に数々の国際的な名手を輩出しているドイツのクロスター・シェンタール国際コンクール、翌14年に難関として知られるメニューイン国際コンクールの各ジュニア部門で相次ぎ優勝。その後、福田は東京の高校からの奨学生の招待を辞退し、「日本人がいない環境でヴァイオリンだけに集中したい」と15歳からスイスに渡った。ハイフェッツ国際コンクールやハノーファー国際コンクールでも入賞し、今年1月には日本コロムビアから初のソロCDをリリース。「説得力の非常に大きな圧倒的な演奏……凄^{すご}いヴァイオリニストが登場してきたものだ」（「レコード芸術」誌／中村孝義氏評）と絶賛された。まさに今、最も注目を浴びている若手ヴァイオリニストの一人だ。妥協を許さぬ完璧な技術と細身の身体から繰り出すエネルギーギッシュな演奏で、ヴィルトゥオーゾぶりを発揮するだろう。



指揮 小林研一郎 (特別客演指揮者)

Conductor= KEN-ICHIRO KOBAYASHI

“コバケン”の愛称で親しまれ、今年4月に80歳を迎える世界的マエストロ。2011年8月から、読響特別客演指揮者の任にある。東京芸術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位。欧州の一流楽団を多数指揮しており02年の「ブラハの春」音楽祭では、東洋人として初めて開幕コンサートに招かれ「わが祖国」をチェコ・フィルと演奏。ハンガリー国立響の音楽総監督、チェコ・フィル常任客演指揮者などを経て、日本フィル桂冠名誉指揮者、九響名誉客演指揮者、名古屋フィル桂冠指揮者、群響ミュージック・アドバイザー、東京文化会館音楽監督、東京芸術大学・リスト音楽院の名誉教授、ローム ミュージックファンデーション評議員などを務めている。13年秋の叙勲で旭日中綬章が授与された。CD、DVDはオクタヴィア・レコードから多数リリースしている。

©読響

ヴァイオリン 福田廉之介

Violin= RENNOSUKE FUKUDA



柔軟な発想力とひらめきを持つ新鋭ヴァイオリニスト。1999年岡山県生まれ。2013年クロスター・シェンタール国際コンクール・ジュニア部門優勝。併せてヴィルトゥオーゾ賞なども受賞。14年メニューイン国際コンクール・ジュニア部門優勝。シオンの音楽学校をわずか1年で首席卒業し、16年からローザンヌ高等音楽院で学んでいる。17年ハイフェッツ国際コンクール第3位、ヴァルセリア・ムジカ国際コンクール優勝。18年ハノーファー国際コンクール第4位。これまでD.ユロフスキ、G.ゲレーロ、山田和樹らの指揮で、クリヴランド管、ロンドン・フィル、モスクワ・フィル、ハノーファー北ドイツ放送フィル、大阪フィルなどと共演。17年、I.ギトリス賞を受賞。今年1月、日本コロムビアから初のソロCDをリリース。河野園子、工藤千博、小栗まぢ絵、漆原啓子、P.ヴェルニコフ、S.マカロヴァの各氏に師事。

読売日本交響楽団 第226回土曜マチネーシリーズ

2020年 **4月25**日(土) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

読売日本交響楽団 第226回日曜マチネーシリーズ

2020年 **4月26**日(日) 14時開演
S ¥7,600 / A ¥5,600 / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

【観客へのお願い】東京芸術劇場には一時託児施設があります(公演1週間前までに予約)。わらべうた0120-415-306(予約受付:平日9時-17時)
【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
【都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。】■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296